

## 高知カツオ県民会議第13回情報発信分科会議事要録

2018年9月18日 於：土佐料理「司」

(出席者16人)

### ◇ 議題1 土佐のおさかな祭り

- ・舞台出演＝サニーズちゃん、クイズで対応
- ・出展ブース＝他分科会の協力を踏まえた上で、以下の通りスタッフの配置を決定した。本人が不在のケースもあり、後日要確認。具体的な内容などを詰めた上で、次回分科会で最終決定する予定。揃いのジャンパーが用意できるか否か事務局で検討する。

27日午前(10:00～12:30)＝四国銀行、ANA2人、堅田、奥代

午後(12:30～15:00)＝高知銀行4～5人

28日午前＝司3人、奥代

午後＝林釣漁具製作所2人、太陽、小坏、堅田

### ◇ 議題2 ステッカー製作について

- ・(黒笹氏) ステッカーは釣りのタックルケースや車の後ろなどに貼ってもらうイメージで、4パターンのデザイン案を提案したい。基本的には英語のワンキャッチで、下に「カツオ県民会議を応援しています」と入れてみた。企業単位で購入してもらうのもいいし、どういう配り方があるだろうか。製作目的などを含めもう一度整理しておきたい。
- ・(小笠原氏) 製作目的はカツオ県民会議の認知と理解促進としたい。まず会議を知らない人に知ってもらい、QRコードなどを通じて理解を促す。そしてステッカーを貼ることで趣旨に賛同していることを意思表示してもらい、企業の協賛金得ることで運営資金つなげればと思う。
- ・(小笠原氏) 配布方法は、個人に対しては基本的にイベントなどで無料配布し、企業には協賛として有料で一定数を買っていただく。ある程度の枚数になったら、例えば「1万枚に達しました」といったことをメディアで紹介してもらえば、「ああ理解が深まっているんだなあ」というPRになる。費用は計算していないが、やはり1万枚ぐらいはめどになるのではないだろうか。ステッカーの台紙に余白をつくり、活動の主旨を書いておく方法もある。
- ・企業向けに企業名を入れてもらい、商品に貼ってもらってもいい。その場合はもっとサイズを小さくしないといけませんが…。

- ・投下資金が必要ということだが、出口が決まっていれば問題ないだろう。製作の問題と一緒に考えていけばいい。
  - ・配ったものをどう使うかは、各企業が切磋琢磨していいかもしれない。
  - ・秋に県内企業の運動会が予定されているが、そんなところで何かアピールできないだろうか。
- 
- ・ステッカーの文言だが、「KATSUO FIRST」は避けてもらいたい。政治家が使っているし、やはり言葉のようでどうかと思う。
  - ・「NO KATSUO、NO LIFE」の案は「NO」にインパクトがあっている。
  - ・私もこれが一番いいと思う。
  - ・私は誰でも分かる「KATSUO LOVE」がいいと思う。海外に行っても単純に「カツオが好きなんだ」というメッセージが伝わる。
  - ・資源保護を訴えるメッセージ性では「NO—」の方がいいかもしれない。われわれは単にカツオが好きただけだが、「カツオがなくなっちゃえば大変なことになるんだよ」と。
  - ・どちらかと言えば「NO—」は男性向けの論理論で、「KATSUO LOVE」は女性向けの共感論になる。
  - ・「ALL WE NEED—」は少し長いと思う。
  - ・ちなみに「NO KATSUO—」は久礼の大正市場のスタッフシャツとダブルなので、その点をどうするか。別に許可はいらないと思うが、もろにかぶってしまう。
  - ・仁義は切らなければならぬと思うが、誰が誰に伝えるのか…。
  - ・大丈夫ではないだろうか。その点は分かってくれるのでは。大正市場の関係者は後輩だし。(笑い)
- 
- ・ステッカーのサイズだが、車やお店に貼ってもらうにはもう少し大きい方がいいのではないか。
  - ・(釣りファンが貼るなら) やはりクーラーかタックルボックスだろう。あとは車か。丸い方と、それ以外だと横長い方が貼りやすいのではないだろうか。全日空の垂直尾翼に貼るには少し小さいかも… (大笑い)

**意見集約＝「4 案のうち『NO KATSUO—』と『KATSUO LOVE』が候補に残り、どちらかといえば『NO KATSUO—』の方がいいのではないかとして幹事会に諮る。「形状はデザイン案上側の左端にある丸形と、下側右の横長のどちらかが有力です」とする。**

(初参加のうーみさんが、退席に際して挨拶)

県外に住んで高知のことをPRしていますが、こうしたステッカーもたくさん県外で貼っていただければと思います。今、羽田空港で47都道府県の物産展をやっており、ぜひこういうものも出していただきたい。

◇ 議題3 SNSによる情報発信の現状について

- ・(日和崎氏) 前回分科会で「ツイッターやフェイスブック(FB)が更新されていない」「誰が管理しているか不明だ」との指摘を受け、八田氏や奥代氏らとチームとして検討してきた。ツイッターとインスタグラムについては、ログインのIDとパスワードを引き継いだ。しかし、2つあるFBのうち1つから入ってみると新たな名称の管理者がおり、そこから先の入り方が分からない。管理者が内部設定を変更できるため、設定変更をしてツイッターとインスタグラム、FBを同時発信しようと思ってもそれができないのが現状だ。そうした中で、FBについては八田氏に定期的にアップしてもらおう一方、商工会議所の詳しいものに管理者変更のやり方はないのか問い合わせしている。
- ・(八田氏) FBとブログを通じて発信している情報を、どれだけの人がチェックしてくれているのか見る方法があったので紹介したい。FBにはシンポ(7月開催)のパネル討論の内容を3回にわたって紹介したが、300~800人に見てもらった。どちらかと言えば少ないと思う。過去にFBにアップした投稿のうち、土佐かつおさんの写真を載せたときや、明神さんの講演告知をしたときは2000人くらいが見てくれた。5月に知り合いの漁師さんが携帯カメラで漁の様子を撮った動画をリンクしたら最高の8000人くらいが見てくれた。やはり長々と文字で書いたものはあまり読まれなくて、それよりパンッと目に入る有名人や動画がより見られる傾向がある。
- ・どうしてFBの管理者が分からないんだろう。
- ・それが分からない。前任者にもう一度確認してみる。

**※ 分科会終了後の9月18日夕、共同通信の西野前支局長が日和崎守氏と高知新聞の八田記者をフェイスブックの「管理人」に指定。これにより管理人不明問題は解決した。**

- ・ブログにパネルディスカッションの内容を3回に分けて掲載した。これは外部にテープ起こししてもらったものを何段階かに分けて編集したものが、この原文をどこかに載せたらいいのか、それとも必要ないのか。今後の

対応も含め検討していただきたい。今回、7月のシンポがアップできたのは9月と大変遅くなった。

- 編集作業をすると時間がかかるということなのか、それとも原文は長いので（必要ない）ということだろうか。
- 記録性を求めるならテープ起こしを残しておくのもありだが、要旨だけ早く伝えるならテープ起こしまでしなくてもいいという気がする。
- みんなに見てもらいたいとすれば、あまり間隔が空かないほうがいい。ただ、どこかに全文が残っていればいいじゃないかと思う。
- 講演などはパワーポイントを使うので「ここで」「あちらで」と言ってもよく分からない。ただ、（全文があれば）後で誰でもアクセスして確認することができる。
- テープ起こしした量は膨大だし、原文だけでは興味がある人でも分かりにくい。やはりどこかで編集作業が必要で、残すなら時間がかかってもそれを残した方がいい。今回時間がかかったのは作業が8月を挟んだことのほか、（事務局で）ちょっとした行き違いもあった。
- 新聞の座談会などでは、第一報は早く載せて詳細な記事は後日掲載するという二段階になっている。そんな方法があるかもしれない。
- シンポの場合は、翌日の新聞記事をまず貼り付けて、その後詳報ということで載せた。二平先生の講演もテープ起こしした全文を編集してもらい、もう一度写真を入れるなどして二平先生に送って見てもらっている。
- 一冊の本にするくらいの勢いで取り組まないとできないくらいの量だ。
- 高知城歴史博物館（城博）の講座は載せていって、シリーズで見たらおもしろいかもしれない。会場に来てくれるのは200~300人なので、やっただけではもったいない。拡散して存在を示すことに意味がある。
- 城博の取り組み（22日の第3回文化講座シリーズ）は告知がきちんと出ていて、集客の取り組みができているのだろうか。
- それは城博側でやっていて、来場者は集まっていると（聞いている）。
- きょうは城博の担当者が休みなので、あすにでも内容を聞き、カツオ県民会議のFBなどでも（新聞と）同じものを載せようと思っている。
- 本にしたらおもしろいと思う。何とか（活動を）残したいが。
- 最少ベースで3000冊ぐらいだ。それ以下だと自費出版レベルになる。
- 高知で県内だけを対象に3000冊売るのはなかなか大変だ。

**※ 次回は10月25日(木)午後4時から。会議後に懇親会を予定**